

組んでまいります。

社会・経済情勢が目まぐるしく変化する中であって、地域住民が夢と希望を持って、安心して暮らせる八雲町の実現には、さまざまな課題があると思います。住民・議会・行政が知恵を出し合い議論を重ね、解決に導くことが重要であると考えますので、町民皆さまおよび議員各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

以下、第2期八雲町総合計画の基本目標ごとに考え方と具体的な方針を申し上げます。

1. 八雲の自然と調和 する安心・安全な 都市基盤整備

(1) 土地利用の推進

八雲町でも人口減少や少子高齢化が着実に進んでいる中で、まちづくりの基本的な方針となる「都市計画マスタープラン」および「立地適正化計画」などの計画に基づいた、持続可能なコンパクトなまちづくりによる行政コストの削減、公共サービスの維持向上を目指していく必要があります。

令和7年度には、策定から

6年が経過する「立地適正化計画」の見直しを実施し、これまでの効果検証を行うとともに、適正な居住区域への誘導や都市機能の集約、公共空地の有効利用など、関連する計画と連携しながら効率的・効果的な土地利用の推進を図ってまいります。

新役場庁舎等の整備に向けて、令和5年度から取り組んできた実施設計では、さまざまなご意見を取り入れながら二度のデザイン見直しを行うなど、時間をかけて慎重に進めてまいりました。今後は、令和9年度の完成を目指して、令和7年度中に建設工事に着手し、工事を進めてまいります。

また、北海道新幹線新八雲（仮称）駅の周辺整備については、令和6年度に策定した「北海道新幹線新八雲（仮称）駅周辺整備計画」をもとに、今後も具体化に向けた検討を進めてまいります。

(2) 自然環境の保全

豊かな自然環境を守っていくため、引き続き、地球温暖化対策に取り組んでまいります。

ヒグマやエゾシカなどの有害鳥獣対策については、「北

海道ヒグマ管理計画」や「八雲町鳥獣被害防止計画」に基づき、猟友会や鳥獣被害防止対策協議会等の関係機関・団体と連携し、効果的かつ安全性を重視した対策を行い、有害鳥獣の個体数調整や人身被害の防止、農林業被害の軽減を図るとともに、電気柵の設置など農作物被害防止策への支援やハンター後継者の育成に対する支援を継続して実施してまいります。

(3) 市街地および 集落の環境整備

安全で快適な都市生活と機能的な都市活動の基礎となる街路整備については、道道である3・4・2出雲通、3・4・7本町大通の整備事業が進められており、早期完成に向けた要請活動を行っていくとともに、街路整備工事に伴い支障となる既存の雨水排水施設、水道・下水道施設についても、引き続き移設整備を進めてまいります。

空家等対策については、保安上や衛生上において支障をきたす管理不全な特定空家の除却・解体の支援や、空家の改修による利活用促進に向けた再生支援を継続して実施しておりますが、さらなる管理

不全な空家の防止・解消に向けた新たな対策の検討を進め、町民の安全で安心な居住環境の形成を図ってまいります。

航空自衛隊八雲分屯基地は、新庁舎に隣接しており、大規模災害時等において重要な活動拠点となり得ることから、災害時の支援活動の拠点機能の整備充実と合わせ、各種訓練、イベント等を通じた平時からの連携強化に向けて、関係団体とともに要請してまいります。

(4) 道路網の整備

急カーブや急こう配の多い国道277号については、事故や災害等で通行止めになることも多いことから、北海道新幹線新八雲（仮称）駅の開業を見据え、地域経済の発展と安定的な物流・人流の確保に向け、早期整備着手を要請してまいります。

国道229号は、乙部町での岩盤崩落に伴う別線ルートの本体工事が始まりましたが、今後においても早期完成に向けて引き続き関係機関に要請してまいります。

道道については、管内各路線の事業促進と、特に新幹線開業に向けては、新八雲（仮称）駅から道道八雲北檜山線

へのアクセス道路および八雲市街地から新駅までの路線整備の早期完成に向けて、関係機関に要請してまいります。

町道については、劣化・損傷している道路の計画的な改良整備を進めており、令和7年度からは防衛省の補助事業を活用した道路整備も実施してまいります。また、橋梁についても「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた効率的な修繕を実施し、維持管理コストの削減を図りながら、将来にわたり持続可能な道路の維持管理を行っていくとともに、関係機関と連携を強化し、通学路などの安全対策を行い、安全で安心な道路交通の確保に努めてまいります。

(5) 交通体系の整備

高齢化が進展する中、買い物や通院など生活に必要な移動手段の確保が重要であることから、引き続き、関係機関の協力を得ながら新たな公共交通網の構築に向けた検討を行い、「八雲町地域公共交通計画」を策定してまいります。

また、北海道新幹線駅開業後にJR北海道から経営分離される並行在来線や新たな交通モード等の在り方については、引き続き、北海道および